

れんげの里
グループ新モデルの構築で
介護・福祉の未来に
手厚い革新を

三重県で介護を中心に多数の事業を展開するれんげの里グループで、介護業界の未来について話を聞きました。

より良い環境

より良い提案を求めて

れんげの里グループは、三重県内で4法人(内2社NPO)、23事業を運営。2005年に立ち上げた「げあまねステーション」から始まり、介護事業を中心にさまざまな施設やサービスを展開しています。140人以上のスタッフとともに、日々利用者への手厚いサービス、従事者への労働環境整備を模索するのが、CEOの松本さんです。

起業以前、松本さんは医療ソーシャルワーカーとして働いていました。「つまり病院内の相談員です。医療・福祉・介護面で困っている方々を支援します。2000年当時ではまだ珍しく、桑名市の医療ソーシャルワーカー第1号でしたよ」と、当時を振り返ります。

介護保険制度が始まってから、患者や家族から寄せられる相談内容が、「退院後に入所する介護施設を紹介して欲しい」の一言になったそう。その人に合った施設を紹介したくても、なかなか良い施設が見つからず苦労していた頃、ふと「良い施設が無いなら自分で作れば良い!」と思ったことが起業へのきっかけです。

「今までは、施設やサービスを紹介する側で働いていたので、利用者の需要や、本当に欲しているものはよく理解できていました。その経験も役に立つはずと、決断しました」。

創業からもうすぐ20年。来年度には、新たな施設の開設や事業展開も控え、事業は順調に拡大しているように見えますが、現在に至るには困難の時も。介護業界の未来を模索する試練がありました。

感謝の心と未来の支援
若者たちの道を照らす

松本さんはこの仕事の魅力を、利用者の声が直接届き、どんな些細なことでも誰かの役に立っていると思えることであると語ります。しかし、この業界の人手不足は深刻です。今後も高齢者を支える若手スタッフの確保は大きな課題。外国人スタッフの力を借りることも必要となります。

れんげの里グループでは、将来の夢を持った外国人を含め、若いスタッフたちの支援に注力。資格取得のためのスクールを自社でも携わることによって、キャリアアップを直接的にサポートできます。

「僕は、新しく入社した外国人社員たちに、『君たちは日本の危機を救いに来てくれたヒーローだ!』と言って受け

入れています」と松本さん。外国人スタッフの中には、母国にれんげの里のような老人ホームを建てたいという夢を持つ若者もいるそう。「彼ら、彼女らが自己実現を果たせるまで、どんな未来を選ぶかの選択肢を提供することが、僕ができる彼ら、彼女らへの恩返しだと思っています」と、優しく微笑みます。

「信頼し、信頼され、誠実であること」は、同社の理念。その信頼とは、今まで自分のとってきた行動の結果。会社の成長とともに、少しのことでは折れなくなり、信念、覚悟が生まれたと話す松本さん。

「自分がやらなきゃ誰がやる」これが私の気概ですね」

常に新しいことを模索し、可能性を切り開いてきたれんげの里グループの今後の展開に、ますます目が離せません。

不用品回収・粗大ごみ処分
買取サービス実施中!
「れんげの里のかたづけ屋さん」
簡単オンライン見積もりが可能。

次回は何んな人・店舗・企業・団体が
登場するかな?お楽しみに~♪



▲1月OPEN。れんげの里 きらく苑



▲12月OPEN。地域連携センター



profile CEO 松本大さん 社会福祉士
主任介護支援専門員

医療ソーシャルワーカーとしての経験を経て、介護を中心とした多数の事業を展開。今年度は新事業の稼働も準備中

☎0594-24-0350(代表)

reng-sato.com/
(Instagram)
www.instagram.com/rengenosato2005/
(Facebook)
www.facebook.com/rengenosato2005



LINE公式アカウント
友達募集中→

